

公表:令和4年 月 日

回収数 43 事業所名 日進市子ども発達支援センターすくすく園

| | | チェック項目 | はい | | いいえ | | 無回答 | | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|----------|---|--|----|--------|-----|-------|-----|------|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 25 | 58.1% | 17 | 39.5% | 1 | 2.3% | 新型コロナウイルス感染症予防対策でソーシャルディスタンスを意識しながら療育を行っているため、余計に療育室の狭さを感じた職員もいたようです。ただ、施設改修等の対応は困難であるため、遊戯室等も活用しながら対応しています。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 25 | 58.1% | 18 | 41.9% | 0 | 0.0% | 日進市の指定管理の人員配置基準を順守して職員配置をしており、国の配置基準以上の人員を確保しています。お子さんの状況等により人員不足を感じられる時があったようですが、状況に応じてサポートできる体制は確保しています。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 41 | 95.3% | 2 | 4.7% | 0 | 0.0% | クールダウンスペースとしてパーテーションで区切る等の工夫をしながら取り組んでいます、それだけでは難しいケースもあったとの意見がありました。今後も、限られた環境・人員の中で、空き部屋を活用するなどの出来るかぎりの環境調整をしていきます。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 新型コロナウイルス感染予防のため、こまめな消毒を心がけてきました。そのため、現場にも負担がかかってきましたが、人員配置を工夫するなどして負担軽減できるようにしています。また、便座が冷たい、との指摘がありましたので、カバーで対応していきます。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPCDAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 30 | 69.8% | 13 | 30.2% | 0 | 0.0% | 今年度も、担任中心に「福祉QC」の活動に取り組み、業務改善に努めてきました。また、今後はパート職員にも議事録を回覧するなど、参画できるようにしていきます。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 37 | 86.0% | 6 | 14.0% | 0 | 0.0% | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 37 | 86.0% | 6 | 14.0% | 0 | 0.0% | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 30 | 69.8% | 10 | 23.3% | 3 | 7.0% | 外部評価は実施していません。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 37 | 86.0% | 6 | 14.0% | 0 | 0.0% | |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 42 | 97.7% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 27 | 62.8% | 15 | 34.9% | 1 | 2.3% | 今年度、標準化されたアセスメントツールの導入について検討してきましたが、まだ結論は出ていません。今後も導入に向けて検討を続けていきます。 |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 42 | 97.7% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | これまで相談員が中心となって実施してきた巡回相談ですが、今年度からはケースに応じて担任保育士も同行することをしてきました。今後、さらに地域支援を充実させ、幼稚園、保育園、小学校等の連携を進めていきます。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 42 | 97.7% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | |
| 適 | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 36 | 83.7% | 7 | 16.3% | 0 | 0.0% | 担任を中心にクラス会議を行っていますが、時間が足りないという意見もありましたので、時間確保と共に、効率的な会議運営ができるように工夫をしていきます。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 41 | 95.3% | 2 | 4.7% | 0 | 0.0% | 子どもの状況により活動を考えていますが改善の余地がある、との意見もありました。具体的なプログラムがそれぞれの子どもに合った活動となるように、さらに工夫をしていきます。 |

| | | | | | | | | | |
|--|---|---|--------|--------|------|-------|------|------|--|
| 切 な 支 援 の 提 供 | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動や集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 41 | 95.3% | 2 | 4.7% | 0 | 0.0% | |
| | ⑰ | 支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 40 | 93.0% | 3 | 7.0% | 0 | 0.0% | 毎朝、短時間で効率的に申し送りを行っています。 |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 39 | 90.7% | 4 | 9.3% | 0 | 0.0% | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 42 | 97.7% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 41 | 95.3% | 2 | 4.7% | 0 | 0.0% | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 41 | 95.3% | 2 | 4.7% | 0 | 0.0% | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 42 | 97.7% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 41 | 95.3% | 2 | 4.7% | 0 | 0.0% | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 42 | 97.7% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | 巡回相談と保育所等訪問の両方を活用しながら情報共有をし、個別ケースでの連携を図ってきました。また、双方のスタッフが互いの園を見学する取り組みも進めています。今後もこうした事例を重ねることで、信頼関係の構築にも努めていきます。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 38 | 88.4% | 5 | 11.6% | 0 | 0.0% | |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか | 34 | 79.1% | 9 | 20.9% | 0 | 0.0% | 日進市自立支援協議会(子ども部会)では、定期的に情報交換と交流を行っています。また、尾張東部圏域が対象の「六市一町親子通園交流会」に参加し、情報共有を図りました。 |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 25 | 58.1% | 18 | 41.9% | 0 | 0.0% | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら今年度も、地域園との交流はできませんでした。 |
| | ㉙ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか | 34 | 79.1% | 7 | 16.3% | 2 | 4.7% | |
| | ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | |
| ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | | |
| | ㉜ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 39 | 90.7% | 2 | 4.7% | 2 | 4.7% | |
| | ㉝ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | |
| | ㉞ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 43 | 100.0% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | |

| | | | | | | | | | |
|------------|---|--|----|--------|----|-------|---|------|---|
| 保護者への説明責任等 | ㉔ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 35 | 81.4% | 7 | 16.3% | 1 | 2.3% | |
| | ㉕ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | |
| | ㉖ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | |
| | ㉗ | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 42 | 97.7% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | 入園時に保護者より「個人情報提供同意書」と「写真の取り扱いについて」の同意書をいただくことを徹底しておりますが、特に写真の取り扱いについて、個人情報の配慮が必要との意見がありました。 |
| | ㉘ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | |
| | ㉙ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 21 | 48.8% | 19 | 44.2% | 3 | 7.0% | |
| 非常時等の対応 | ㉚ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 35 | 81.4% | 7 | 16.3% | 1 | 2.3% | 毎月、避難訓練や不審者訓練を行い、保護者に周知していきまいた。今後も、あらゆる場面を想定し、実施していききたいと思います。 |
| | ㉛ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | |
| | ㉜ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 42 | 97.7% | 1 | 2.3% | 0 | 0.0% | 看護師が中心となって健康状況の把握に努めています。 |
| 非常時等の対応 | ㉝ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | |
| | ㉞ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 37 | 86.0% | 6 | 14.0% | 0 | 0.0% | ヒヤリハットや事故報告書は必ず回覧し周知するようにしていますが、回覧に時間がかかったり、全員に回覧できていないときがあり、今後改善していきます。 |
| | ㉟ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 43 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 虐待防止研修は、毎年開催し、虐待防止委員会を中心に、虐待の防止と早期発見についても検討しています。また、クラス会議でも定期的に話し合いをしています。 |
| | ㊱ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 40 | 93.0% | 3 | 7.0% | 0 | 0.0% | 身体拘束は原則禁止しており、今年度もそうした事例はありませんでした。今後、こうした措置が必要な事例があったときは、必ず所定の手続きをとることに留意していきます。 |